第21回医療の質・安全学会学術集会

ベストプラクティス賞　候補演題

演題番号	演題名
P-1-7	院内手話通訳によるろう者との対話支援 －患者中心の医療とパートナーシップ形成に向けて―
P-2-9	高濃度カリウム注射剤の安全使用に向けた院内マニュアル導入の取り組みとその効果
P-3-6	転倒・転落のリスク評価精度の改善と頭部打撲発生後の記録記載率の向上への取り組み
P-4-4	CT/MRI検査の重要所見レポート未読防止システムの一例
P-5-3	アラームレポートの活用による医療機器アラームの可視化と運用改善への取り組み
P-6-3	ImSAFER手法を応用したサーバーセキュリティ机上訓練の実施
P-7-3	投与間隔情報の可視化による医療安全の向上と監査業務の効率化
P-9-5	異常の早期発見に向けた生体監視モニタ管理への取り組み
P-10-8	クリティカルケア認定看護師のRRS専従配置が院内重症化予防に与えた効果
P-11-2	医療安全管理業務における生成AI活用の現状と課題 ～小規模病院における実践と試行錯誤～
P-12-10	大学病院におけるTeamSTEPPS®研修の持続的発展に向けた事業計画の再構築 ―ロジックモデルを用いたプログラム評価と目標共有の試み―
P-13-5	周術期の末梢型DVTに対するDOAC適正使用に向けた取り組み
P-14-9	高度急性期病院の転倒転落防止対策チームの活動報告－転倒リスク評価としてロコモ25を取り入れた4年間の活動評価－
P-15-8	患者個別の詳細な警告条件を医療従事者自身が設定可能な電子カルテ臨床アラート機能の開発
P-16-10	新人多職種医療安全研修における議論構造の再設計 ―事務職員・メディカルスタッフの発言促進を目的として―
P-17-2	入退院時における薬剤確認補助プログラムの開発
P-18-8	インシデントレポート報告件数増加に向けた取り組み
P-19-8	240床病院における年間14,000件超のインシデントレポート集計分析・フィードバック手法の構築
P-21-1	医療安全管理部門カンファレンスにおけるインシデント事例検討を“自分事”にするためのひと工夫 ～無料のGoogleフォームを利用した事前投票制の導入～
P-22-8	透析室における「参加型医療安全クイズ」の導入効果 －遊び心を取り入れた啓発活動による意識変容とインシデント内容の質的変化－
P-23-4	医師のオンコール体制における看護師の連絡・調整の実態
P-24-10	生成AIを活用した動画とスクリーンセーバーによる医療安全手順書の院内周知の試み
P-25-9	医療安全における「うまくいったこと」の可視化と共有 －出来事報告書のポジティブな視点分析とGood job報告の学習活用－
P-26-3	MR入室時の準備不足を減少させる取り組み　～MR準備に患者参画を～
P-27-2	電子カルテシステム障害を想定した障害時運用手順の構築と机上訓練の実施
P-28-4	立体駐車場における院内急変対応体制の整備と課題改善の取り組み ～救急蘇生小委員会によるシミュレーションとフロー整備の実践～
P-29-8	本邦初となる患者参加型「医療安全啓発センター」開設意義と来場者アンケートから見えた期待 ～２群間（患者家族群・教職員群）比較～
P-30-6	リンクナース主導による手指消毒薬使用量の可視化と心理的インセンティブを用いた取り組み